
■ さろん | Mail News 2018/10/1 | #123 ■ 【イベント号】

ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラム等は執筆者の個人的な考えを表したものです。会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。予めご了承ください。

=====Vol.123 2018年10月1日(月)=====

さ | ろ | ん |

— | — | — |

M | a | i | l | N | e | w | s |

— | — | — | — | — | — | — |

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

=====

INDEX

- | 【1】 予約受付中：10/20 さろん哲学 98回 テーマ：「風刺」
- | 【2】 予約受付中：10/21 " (85) 「君の脾臓を食べたい」 / 〈リクエスト特集〉
- | 予約受付中：11/11 " (86) 「神様のいない日本シリーズ」 / 〈リクエスト特集〉
- | 【3】 予約受付中：11/23 さろんコラボ哲学「怒り+マンガ」(仮称)
- | 【4】 開催の報告：9/15 さろん哲学 97回 テーマ：「なぜなつかしいのか？」
- | 【ご案内】《さろんラボ》
- | 【5】 関連イベント情報
- | 【6】 ふくろう広場(会からのお知らせ)：下半期の催事ラインナップ
- | 編集後記

CONTENTS

【1】 さろん哲学

第96回 テーマ：「風刺」

次回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2018年10月20日（土）15:00-17:00

テーマ：「風刺」

進 行：野田

会 場：Under the Mat 中目黒 <http://www.underthemat.jp/>

参加費：飲み物代 500 円+運営費 300 円

定 員：16名

▽司会から：

風刺とは何で、似ているものとの違いは何でしょうか。なぜあるのか、良いものと悪いものがあるのかなどについて考えます。

- 会場は前回と異なりますので、ご注意ください。
- 携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。
- さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。不要の方はさろんの HP の末尾のフォームに、その旨ご記入願います
- さろん哲学は原則【毎月第3土曜】に開催しています

ご予約・ご質問はこちら⇒ salontetsugaku@gmail.com

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

- 携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。
- さろん哲学は原則【毎月第3土曜】に開催しています
- さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。ご不要の方はさろんの HP <http://salon-public.com/> の末尾のフォームに、その旨ご記入願います

—— 【2】朝さろん／夜さろん ——

朝さろん 〈85〉「君の脾臓を食べたい」 / 〈リクエスト特集〉

〈86〉「神様のいない日本シリーズ」 / 〈リクエスト特集〉

参加者の推薦による〈リクエスト特集〉がスタートしました。

みなさんから寄せていただいた推薦本を、毎月1冊ずつ一緒に味わいましょう。

先月の『植物図鑑』（有川浩）には8名にご参加いただきました。どうもありがとうございました。

開催内容はHP「朝さろんの本棚」から閲覧できます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

【朝さろん】

◆朝さろん 85th morning

『君の膵臓をたべたい』 住野よる／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2018年10月21日(日)9:05-12:00

参加費：1500円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 　：『君の膵臓をたべたい』 住野よる(双葉文庫)

定 員：10名程度 (要予約)

バリスタ (進行)：堀越 さん

内 容：

デビュー作にして2016年本屋大賞・堂々の第2位、こういう本も熱く読書会しちゃいます。リクエスト特集ですから。

推薦者：堀越さんからの推薦コメント

不治の病を患う女子高校生と彼女に巻き込まれていく男子高校生のふたり。だが、これは、物語の先が容易に読めるような不治の病にまつわる予定調和の小説では決してない。

どうすれば自分を見つけられるか。魅力を持てるようになるか。人々との出会いは運命か意思か。

死とどう向き合えばいいか。生きるとは一体どういうことなのか。

この小説は、ふたりが互いを敬いながら過ごす大切な時間を通じて、私達が生きていく上でとても大切に、根源的な問いを私達に投げかける。

あらすじ

『ある日、高校生の僕は病院で一冊の文庫本を拾う。タイトルは「共病文庫」。それはクラスメイトである山内桜良が綴った、秘密の日記帳だった。そこには、彼女の余命が膵臓の病気により、もういくばくもないと書かれていて。読後、きっとこのタイトルに涙する。「名前のない僕」と「日常のない彼女」が織りなす、大ベストセラー青春小説!』

◆朝さろん 86th morning

『神様のいない日本シリーズ』 田中慎弥／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2018年11月11日(日)9:05-12:00

参加費：1500円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 　：『神様のいない日本シリーズ』 田中慎弥(文春文庫)

定 員：10名程度 (要予約)

バリスタ (進行)：楠本 さん

内 容：

父と子の「絆」を描く、新芥川賞作家の最高傑作!こんな作品もリクエスト特集ならではかもしれません。

あらすじ

『表題にある“日本シリーズ”とは3連敗4連勝という劇的な戦いとなった1986年のシリーズのこと。もし日本シリーズで奇跡が起こったら、自分の身にも奇跡が訪れるのではないか。失踪し

た父親の帰還を願う少年の想いは実現するのか。先日芥川賞を受賞された田中慎弥さんの傑作が
いに文庫化されます。自分の息子にむかって、自らの父親のことを語る主人公。田中さんがこだわ
りつづける父と子というテーマが凝縮された作品です。』

◆夜さろん 第18夜

《定点観測としての読書会 ～川上未映子『ウイステリアと三人の女たち』～》

<http://www.shinchosha.co.jp/book/325625/>

11月29日(木)の19時30分から開催予定です。

@渋谷です

参加費：1000円程度

予約受け付け中です；

salontetsugaku@gmail.com (担当：芹沢)

過去の開催内容をHPに掲載しています。

◇朝さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》第2週の日曜AMに開催(場合によって開催週変更の場合あり)

《夜さろん》不定期開催

— 【3】 さろんコラボ哲学 —

さろんコラボ哲学「怒り+マンガ」(仮称)

ブラジル人マンガ家、モクタン・アンジェロ氏とのコラボ哲学カフェを開催します。

古代ローマの哲学者セネカの『怒りについて』を基にした氏の最新刊『レオノーラの猛獣刑』を題
材に、「怒り」についてマンガを入口として、考えたり話しあったりしてみます。

全体を2部にわけ、前半では氏のマンガをじっくりと鑑賞しながらそこから問いを立ててみたりし
ます。後半では広く「怒り」をテーマにした哲学対話を開催したいと思います。

セネカの『怒りについて』がマンガ家の想像力を經由してどのように解釈・再構成されているのか。
そこに通底する”怒り”とはいったいなんなのか。

日 時：2018年11月23日(金・祝) 15:00-18:00

テーマ：「怒り+マンガ」

進 行：芹沢+堀越 feat.モクタン・アンジェロ氏

会 場：カフェミヤマ渋谷公園通り店2号店

参加費：1500円程度(予価)

定 員：12名程度

参考 『レオノーラの猛獣刑』冒頭第1話【無料公開中】

<http://www.j-publishing.co.jp/jingai/leonora/>

ご予約・ご質問：こちら⇒ salontetsugaku@gmail.com

詳細はこちらをご覧ください

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

●携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。

【4】さろん哲学

第97回 テーマ：「なぜなつかしいのか？」

前回さろん哲学を下記のテーマで開催しました。

日 時：2018年9月15日（土）

テーマ：「なぜなつかしいのか？」

進 行：堀越

会 場：Book Lab Tokyo (渋谷)

参加者：15名

進行から：初参加者2名を含む総勢15名で、主に、どういふときになつかしいと感じるか、なつかしいとはどういふ感情か、なつかしいという感情は役に立つのかを話し、考えた。

近日中にHPに議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

ご感想などありましたらお寄せください⇒ salontetsugaku@gmail.com

【おしらせ】

《さろんラボ》

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【堀越】

- ・哲学カフェを自分で開きたいけど、どうしたらいいかわからない…。
- ・読書会を自分で主催したいけど、自信がなくて…。

そんなときこそ「さろんラボ」がお力になります。

さろんラボでは、みなさまの「やってみたい」を核に、さろんを触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場です。

ご参考までに、このラボからは、さろんの参加者の手で、以下の二つの活動がうまれました。

【さろんラボ 001】 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

【さろんラボ 002】 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心事やご興味を添えて、どうぞお気軽に下記までご連絡下さい。

みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：堀越)

【5】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

From さろんラボ：001

〔あたまの中を散歩するてつがくカフェ〕第33回

日 時：2018年10月下旬～11月上旬の週末

テーマ：未定（今回はメタ哲学カフェでの開催です）

会 場：名古屋市内の喫茶店・カフェ

日時と会場を現在調整中です。近日中に詳細をウェブサイトとツイッターにてご案内します

定 員：6名程度

参加費：無料

運営・進行：くらち

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※当日の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、

もしくは sanpo.tetsugaku@gmail.com までご連絡ください
(Gmail が受信できる設定をお願いいたします)

ウェブサイト <http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/

お申込み・ご質問 sanpo.tetsugaku@gmail.com (くらち)

From さろんラボ : 002

[哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル] 第16回

テーマ : 私が『生まれる』とは、どのようなことか?

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル

HP : <http://ante-table.wix.com/ante-table>

email : cafe.ante.table@gmail.com

(一覧になっているもの)

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい! 対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽日本哲学プラクティス学会

<https://philopracticejapan.org/>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽東京メタ哲学カフェ

<https://mgasamihonma.wixsite.com/tokyometa>

<https://www.facebook.com/tokyometa/>

日 時：10月21日（日）午後1時30分～5時

場 所：東京都新宿区立消費生活センター分館 会議室

テーマ：「新しい哲学カフェをつくってみる」

進行役：岡村正敏（ケアと生涯学習をアートで結ぶ活動）

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

次回「カフェ×哲学書」

10月7日（日）@スタジオスクイント

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

▽てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」

<http://sinemasamune.blog.fc2.com/>

▽NPO 法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽人生カフェ

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽対話学舎えんたらいふ

ねりまの哲学対話“ねりテツ”

カフェ藤香想『わわわの話』

<http://msentalife.wixsite.com/entalife>

▽竹林茶話会 哲学 Cafe@柏

<https://www.facebook.com/chikurinsawakai/>

▽はなこ哲学カフェいどばたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽対話の実験室@公-差-転

<http://kosaten.org/taiwa/>

▽対話カフェ Tokyo～Yokohama

<https://taiwa-cafe.jimdo.com/>

▽デモクラシーCafe@東村山

http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/

▽読書と対話の会

<http://love.link/pg47.html>

▽クルミドの朝モヤ

<http://ameblo.jp/kurumed/>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！

<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽リフレクション・ポータル

<http://reflectionportal.com/>

▽ヨコハマ読書倶楽部

<https://yokohama-dokusho.jimdo.com/about-us/>

▽本の場所（表参道）

著者自身による小説の朗読会

<http://www.honnobasyo.com/>

▽『こどものてつがく・ケアと幸せのための対話』（シリーズ臨床哲学 3），大阪大学出版会

高橋綾（著），本間 直樹 ほんまなほ（著），鷺田 清一（監修）

<https://www.amazon.co.jp/dp/4872595807>

▽『ソクラテック・ダイアログ 対話の哲学に向けて』（シリーズ臨床哲学 4），大阪大学出版会

<http://www.osaka-up.or.jp/books/ISBN978-4-87259-604-5.html>

▽『問い続ける教師 教育の哲学×教師の哲学』

多賀 一郎（著），苫野 一徳（著）

<https://www.amazon.co.jp/dp/4761923636>

▽読書猿（『問題解決大全』）×原田まりる（『まいにち哲学』）対談

<https://www.bunkanews.jp/news/news.php?id=18117>

▽『なぜと問うのはなぜだろう』吉田夏彦（ちくまプリマー新書）

<https://www.amazon.co.jp/dp/4480689907/>

▽『子どもたちの未来を拓く探究の対話「p4c」』p4c みやぎ・出版企画委員会，東京書籍

<https://www.amazon.co.jp/dp/448781071X/>

▽『社会にとって趣味とは何か』北田暁大・解体研〔編著〕

<http://web.kawade.co.jp/bungei/1262/>

▽『哲学がわかる 因果性』スティーヴン・マンフォード、ラニ・リル・アンユム、岩波書店

<https://www.amazon.co.jp/dp/4000612417/>

▽「観光経験の現象学」エリック・コーヘン

5つのモード〈レクリエーション、気晴らし、経験、体験、実存〉

<https://ci.nii.ac.jp/els/contents110000474986.pdf?id=ART0000859721>

【6】

ふくろう広場（会からのお知らせ）

先月は下記のスペシャルプログラムを開催しました。

- (1) 【さろん哲学 ★8周年記念例会★】
テーマ：「なぜなつかしいのか？」
9/15 (土) 15:00 - 17:00
- (2) 【『みんなで考えよう』合評会：哲プラ連絡会機関誌】
9/22 (土) 14:30 - 18:00
- (3) 【さろん Remix 「池上大捜査線」 ★8周年記念スペシャル企画★】
9/24 (月・祝) 13:00 - 18:00

いずれの催事にも大勢の参加者をお迎えできました。心から御礼申し上げます。
また哲学プラクティス連絡会のサイトでさろん発の下記の論考2本が公開されました。
ぜひDLして読んでみてください。

◆さろん仙台ツアー2017 ——「哲学ツーリズム」の視点から——

芹沢幸雄（さろん）

<http://philosophicalpractice.jp/wp-content/uploads/2018/09/06.pdf>

◆哲学対話における発話後の質問ルール化の実践——他の参加者の意見を良く聴くことを狙う——

堀越睦（さろん）

<http://philosophicalpractice.jp/wp-content/uploads/2018/09/07.pdf>

上記のさろん論考以外にも大変興味深い論考ばかりが目白押しです。
いずれも下記からご覧ください。

<http://philosophicalpractice.jp/journal/>

12月には下記の特典企画が予定されています。ぜひ遊びに来てくださいね。

●【さろん哲学 ★第100回記念特別回★】

12/15 (土) 15:00 - 19:00

担 当：野田

100回記念例会@中目黒

さろん哲学（例会）もついに大台です。

毎月1回のシンプルな積み重ねをあらためて言祝ぎたいと思います。

例会後には Good Neighbors Party も同会場で開催します。

●【さろんクリスマスパーティー2018】

12/22 (土) 午後 - 夕方

実行委員長：堀越

アレですね。毎年恒例の。

クリパ。

初めての方も、数年ぶりの方も、とことん一緒になごみましょう。

今年も、実行委員長が全力投入です。

編集後記

メールニュース第 123 号をお届けします。

ホロッホーウ。フクロウです。

列島を横断した今度の台風、すごかったですね。みなさん大丈夫でしたか？

台風一過の反動で再び 30 度近くまで気温が上昇していますが、
ひと雨ごとに寒さを増してくるのが神無月、10 月です。

みなさん体調には十分にご注意していただいて、

秋の夜長をゆっくりと、メロウに、そしておもしろおもしろに、お過ごしくださいませ。

"月光に刺されて死んだの誰だっけ 一オクターブ外して笑う" (田丸まひる)

それではまた次号でお会いしましょう。ホウ。

編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2018/10/1

⇒次号 (10 月 15 日頃発行予定)

さろん Mail News 第 123 号 / 2018 年 10 月 1 日発行【イベント号】

編集・発行: さろん

salontetsugaku@gmail.com

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

-
- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、
当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
 - ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーは HP からご覧いただけます。
 - ◇ 【Twitter】 https://twitter.com/salontetsugaku
 - ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
 - ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
 - 「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
 - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
 - 「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2018 さろん. All rights reserved."
